



# 優秀賞 (エクステリア部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

自然と共存する庭

タイプ

持家一戸建

講評

引きのある恵まれたアプローチを生き返らせた。アプローチはウッドデッキと板塀のみごとに自然と融和し、リニアなシークエンスを生んでいる。エクステリアでのライティングも成功していて、夜や雨の時に訪れたいほどである。



①門に入る。高い塀とフェンスの奥は自然が広がるが、夜は暗い感じに



④門から玄関へと続くアプローチは、自然や景観を壊すことのないデザイン。有利鉄線が巡らされた以前のフェンスからは想像できないほどの変化となった。⑤は照明が点灯された状態。



③門から玄関までのアプローチ。緑に囲まれているが、どことなく殺風景に見えていた。



②隣家との境の塀。左側が門、右手に住宅の玄関



⑤樹木をなるべく伐採しない形で、自然が優先のデザイン



⑦早朝・昼・夕暮れ時・月夜の晩、真冬の雪や夏の夕立など、時間帯や季節の移ろいによって、さまざまに変化する庭に。

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの動機・施主の感想》

今まで使っていなかった裏の鉄門を開放し、玄関までのアプローチを考えて欲しいと依頼。自然と景観を壊さない工夫を第一に殺風景な庭から、「家の顔」になるような落ち着いた雰囲気にしたと家族のみんなで考えていました。第1期工事（門扉とアプローチ）の完成後、玄関ドアなどを追加発注。途中からは娘たちの希望もあって、ミッキーマウスの面格子やインターホン、散水栓などを取り付けただけで、娘もお気に入りの楽しい我が家になりました。

《設計・施工の工夫点》

自然豊かな庭なので樹木はなるべく伐採せず、デッキ材（イペ材）に加え天然の枕木を使う事で、新鮮さの中に時の流れを感じさせる、周囲と調和したデザインをご提供。照明計画もこだわり、無機質な印象を解消しました。昼はバーベキュー、夜は老舗旅館のようなイメージで、昼と夜の表情の違いを効果的に演出。1本60kgもある枕木は、現地でバランスを見ながら高さや間隔を決め、ランダムな中にも景観と溶け込むように配置しました。

特に配慮した住宅性能：自然素材・防犯・デザイン性

データ

所在地	東京都大田区	構造/築後年数	在来木造/15年
該当工事面積	86 m <sup>2</sup> /総工事床面積 86 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	1,430 万円/総工事費 1,430 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2人/65歳以上： 2人/15歳未満： 2人/ペット： 1人		
設計者	ゆとりフォーム(株)	担当者	佐々木 聡子
施工者	同上	担当者	

リフォーム前

リフォーム後

